

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成22年度)

基本理念	1 子どもの最善の利益を考えるとともに、子ども自らの「育つ力」を大切にします。 2 父親・母親を中心とした、家庭の「育てる力」を大切にします。 3 子育ての負担を家庭だけに負わせることなく、地域や職場が子どもと子育て家庭を応援します。 4 行政は、地域や職場と連携しながら、子どもと子育て家庭を応援します。
計画目標	<h3 style="margin: 0;">子育て、子育てをみんなが応援するまち ねりま</h3> <p style="font-size: small; margin: 5px 0;">練馬区では、父親・母親その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本認識の下に、地域社会全体で家庭の「育てる力」と子ども自らの「育つ力」を応援することによって、安心して子育てができるまち、そして、子どもが未来に希望を持ち、次代を担う力を身につけることのできるまちの実現をめざします。</p>
基本目標	I 子どもたちの「育つ力」と子育て家庭の「育てる力」を応援します II 子どもと親の健康づくりを応援します III 子どもの健やかな成長を助けるため教育環境を整備します IV 子どもと子育て家庭を応援するまちづくりを進めます V 支援が必要な子どもと子育て家庭を応援します VI 計画の着実な推進を図ります

※網がけは、目標値を達成した事業です。
 ※「平成21年度末実施状況」は、前期計画終了時の数値(状況)です。

基本目標	I 子どもたちの「育つ力」と子育て家庭の「育てる力」を応援します					
基本施策	1 子育て支援についての情報提供、相談機能の充実					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成22年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成22年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-1-2 子ども家庭支援センターの整備	施設数	4か所	5か所	先駆型センター 1か所 従来型センター 4か所	◆ I-1-2 「子ども家庭支援センターの整備」 平成22年5月、東大泉5丁目に大泉子ども家庭支援センターを開設した。	子どもと子育て家庭を支援する中核的機関として、大泉地域に5か所目の子ども家庭支援センターを開設したことにより、目標値を達成した。 また、平成22年度に実施した、子育てのひろば利用者アンケートにおいて、ひろばでの相談経験について調査。相談経験があり、適切な回答が得られていると答えた者は、全体の62.8%、相談経験のない者は28.5%であった。 今後、子育て支援情報の効果的な提供手法を検討する。
I-1-4 (仮称)すくすくナビゲーター事業の実施	育成・配置	-	平成22年12月関係者会議を実施	(育成・配置) 24か所	◆ I-1-4(仮称)すくすくナビゲーター事業の実施 すくすくナビゲーター事業のあり方について検討した。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成22年度)

基本施策		2 子育て家庭の交流の促進				平成22年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成22年度末 実施状況	平成26年度末 目標値			
I-2-1 子育てのひろば	施設数	びよびよ 5か所	びよびよ 5か所	11か所	◆ I-2-1「子育てのひろば」 平成22年4月、石神井町3丁目に未来こどもランドを開設した。 学童クラブ室を活用する「にこにこ」は、69か所に拡大することができた。	0～3歳までの子どもと保護者に集いの場を提供し、子育て家庭の交流や、孤立感の解消に努める。また、子育ての相談を行い、子育てに関する不安の解消に努めている。今後、子育てのひろばとして開設可能な場所・団体について検討し、引き続きひろばの増設をすすめる。	
		にこにこ 63か所	にこにこ 69か所	63か所			
		放課後児童等の広場（民間学童保育）事業 3か所	放課後児童等の広場（民間学童保育）事業 2か所	3か所			
		民設子育てのひろばへの支援 8か所	民設子育てのひろばへの支援 9か所	13か所			
I-2-4 子育て支援啓発講座の実施	ノーバディーズパーフェクト・子育て支援啓発講座の実施	ノーバディーズパーフェクト定員12名程度×6回講座×3会場	ノーバディーズパーフェクト 6回講座×4会場 参加者48人	定員12名程度×6回講座×4会場	◆ I-2-4「子育て支援啓発講座の実施」 大泉子ども家庭支援センターの開設により、大泉子ども家庭支援センターを会場としたノーバディーズパーフェクト講座を新たに実施した。 また、大泉子ども家庭支援センターの開設記念講座として、平成22年5月に、父親の育児参加にかかる「パパカ(ぢから)・パワーアップ講座を実施した。 ※ノーバディーズパーフェクト講座 子育てに関する様々な悩み等を参加者同士で話しながら、子育てのノウハウを学ぶ講座。	「子育て支援啓発講座の実施」については、目標値を達成した。「ノーバディーズパーフェクト講座」は参加希望が多く、平成22年度には会場を増やして実施した。今後も引き続き講座を実施する。	
	子育て支援啓発講座の実施		パパカ・パワーアップ講座1回講座・参加者43人	講座の実施			

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成22年度)

基本施策		3 子育て家庭を地域で支える仕組みづくり				平成22年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成22年度末 実施状況	平成26年度末 目標値			
I-3-2 児童館を地域の核とする子育て支援ネットワークの構築	ネットワーク構築児童館数	5館	8館	17館	◆ I-3-2「児童館を地域の核とする子育て支援ネットワークの構築」 進捗状況管理検討会を設置した。 年に1回全児童館にアンケートを実施し、進捗状況を管理した。	児童館(全17館)が共通のネットワークの構想イメージをもち、取り組みの最低基準を定めた上で更なる充実を図っている。状況が許す限り前倒して目標値を実現していく。	
I-3-3 ファミリーサポートセンター(育児支えあい)事業	援助依頼 受付体制の充実 援助会員の増員・育成 保育サービス講習会の充実	3か所(区全体)	3か所(区全体)	援助依頼 受付体制の充実 援助会員の増員・育成 保育サービス講習会の充実	◆ I-3-3「ファミリーサポートセンター(育児支えあい)事業」 平成23年度から3か所のセンターを1か所に統合することとし、受託事業者による準備委託を開始した。	ファミリーサポートセンター(育児支えあい)事業については、区民が主体的に行う育児援助活動の支援。援助会員の確保、増員とスキルアップを図るため、保育サービス講習会を実施した。平成23年度より、これまで3地域に分かれていたファミリーサポートセンターを委託化により1か所に統合することにより、コーディネート業務の効率化を図った。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成22年度)

基本施策		4 保育サービスの充実				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成22年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成22年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-4-1 保育所待機児童の 解消	定員数	9,644人	10,052人	11,451人	◆ I-4-1「保育所待機児童の解消」 私立認可保育所2園を開設した。 (平成22年4月アスク石神井台保育園、 平成22年11月アスク石神井まち保育園) 認証保育所4園を開設した。 (平成22年12月保育所まあむ中村橋駅 前園、平成23年3月マミズハット新江古田、 キッズパオ石神井あおぞら園、ヘビーステーション 石神井公園) 家庭福祉員を新規に認定した。 (平成22年4月7人、平成22年7月1人)	保育所待機児童の解消に向け、平成22 年度は、私立認可保育所、認証保育所 の新設をはじめとした定員枠の拡大に取り 組み、408人の定員増を行った。 しかし、保育所申込者数は増加しており、 保育所待機児童の解消のためには、 目標事業量を可能な限り前倒して定員 増に取り組んでいく。 乳幼児一時預かり事業は、保護者の ニーズに即した、乳幼児の一時預かりを 実施することで、在宅子育て家庭への育 児支援を行う。平成26年度目標値を達成 したが、利用ニーズが高いため今後利用 枠の拡大等を引き続き検討する。 短期特例保育は、緊急時における短期 特例保育事業の需要が高いことから、今 後も、新設の私立保育所、認証保育所等 に実施を要請していく。
	認可保育所	83園 8,253人	85園 8,468人	99園 9,631人		
	認証保育所	27か所 798人 福祉員41人、	31か所 950人	40か所 1,158 人		
	家庭福祉員	120人 8室 66人	福祉員49人、144 人	福祉員46人、 132人		
	駅型グループ保 育室	8室 152人	8室、75人	8室 75人		
	保育室	6園 155人	7室、140人			
	幼稚園預かり保 育 認定こども園	2園 100人	6園、155人	5園 130人		
		2園、100人 【練馬型グループ 保育室】 2室、20人	7園 325人			
I-4-2 乳幼児一時預かり 事業	施設数	4か所	5か所	5か所	◆ I-4-2「乳幼児一時預かり事業」 大泉子ども家庭支援センターの開設によ り、乳幼児一時預かりの実施施設を1か所 増設した。 光が丘子ども家庭支援センターの一時 預かり事業について、定員を10人から12 人へ増員した。	ニーズに即した、乳幼児の一時預かりを 実施することで、在宅子育て家庭への育 児支援を行う。平成26年度目標値を達成 したが、利用ニーズが高いため今後利用 枠の拡大等を引き続き検討する。 短期特例保育は、緊急時における短期 特例保育事業の需要が高いことから、今 後も、新設の私立保育所、認証保育所等 に実施を要請していく。
	定員数	36人	48人	46人		
		放課後児童等の 広場(民間学童 保育)事業 2か所	2か所	2か所		
I-4-5 短期特例保育	保育員数	9人	9人	14人	◆ I-4-5「短期特例保育」 私立保育所1園において事業を開始し た。 (平成22年4月アスク石神井台保育園) 認証保育所3か所において事業を開始し た。 (平成22年4月アンミッコ保育園、さつき保 育園石神井公園ルーム、おひさま保育園 練馬駅前園)	
	定員数	27人	27人	42人		
	<入所定員の空 き利用>	保育所65園	保育所66園	81園		
	施設数	認証保育所13か 所	認証保育所16か所	30か所		
		保育室8室	保育室等8室			

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成22年度)

基本施策		4 保育サービスの充実				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成22年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成22年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-4-6 一時預かり	施設数 定員数	区・私立保育所 6園 45人	区・私立保育所 7園 55人	13園 84人	◆ I-4-6「一時預かり」 区立保育所1園で事業を開始した。 (平成22年10月豊玉第二保育園)	
I-4-7 病児・病後児保育	施設数 定員数	病後児保育 4か所 22人	病後児保育 4か所 22人	病後児保育 2か所 6人 病児保育 3か所 20人	◆ I-4-7「病児・病後児保育」 平成23年度に、既設の病後児保育施設 2か所で病児保育事業を開始するための 取り組みを行った。 平成23年度以降に、新規の病児保育施 設を開設するための取り組みを行った。	
I-4-8 延長保育	施設数	区・私立保育所 計40園 朝30分 6園 夕1時間 31園 夕1時間30分 1園 夕2時間 7園 夕2時間30分 1園	区・私立保育所 計44園 朝30分 11園 夕1時間 30園 夕1時間30分 1園 夕2時間 12園 夕2時間30分 1園	計55園 朝12園 夕55園	◆ I-4-8「延長保育」 4園で新規に事業を開始した。 ※平成22年4月アスク石神井台保育園(朝 30分、夕2時間)、豊玉第二保育園(朝30 分、夕2時間)、北町保育園(朝30分、夕2 時間) ※平成22年11月アスク石神井まち保育園 (朝30分、夕2時間) 1園で延長保育時間の変更(延長)を 行った。 ※平成22年4月光が丘第四保育園(夕1時 間を朝30分、夕2時間に変更)	各事業とも順調に拡充が図られてい る。 平成23年度以降「病児保育事業」を開 始し、利用者のニーズに応じていく。 認定こども園についても整備し、就学前 の児童の教育・保育を一体として提供し ていく。
I-4-9 認定こども園	施設数 定員数	2園 100人	2園 100人	7園 325人	◆ I-4-9「認定こども園」 平成23年度、1園の認定に向け、取り組 みを行った。	
基本施策		5 児童館、地区区民館、厚生文化会館、学童クラブ事業等の充実				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成22年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成22年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-5-6 中高生の居場所づ くり	実施児童館数	2館	3館	10か所	◆ I-5-6「中高生の居場所づくり」 平成22年6月から土支田児童館で実施し た。 平成23年度からの新たな実施館を2館 選定した。週に2回(水曜日・金曜日)17時 ～19時を中高生の居場所づくり事業の時 間帯として実施する。	今後は長期計画に基づき、年2館ずつ 新規に実施していく。

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成22年度)

基本施策	6 その他の居場所、遊び場、多様な体験機会の充実					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成22年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成22年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-6-9 学校応援団推進事業	施設数	小学校57校	小学校65校	65校	◆ I-6-9「学校応援団推進事業」 全小学校65校に学校応援団を設置した。	
I-6-14 練馬区における 「放課後子どもプラン」	学校応援団の設置 学童クラブ事業とひろば事業の連携 校内学童クラブ設置	57校 学童クラブ事業とひろば事業の連携の本格実施33校 学童クラブ設置数(近隣設置校含む)42校	65校 学童クラブ事業とひろば事業の連携の本格実施48校 学童クラブ設置数(近隣設置校含む)45校	65校 学童クラブ事業とひろば事業の全小学校での連携 学童クラブの構内移設・整備	◆ I-6-14「練馬区における放課後子どもプラン」 第二次練馬区放課後子どもプラン(平成22年3月策定)に基づき、48校で学童クラブ事業と学校応援団のひろば事業の連携を実施した。 また学童クラブ職員、ひろばスタッフ両者にアンケートを実施し、連携を進める検討材料とした。	各事業とも計画通り順調に進んでいる。 学校応援団推進事業は、平成22年度末で目標値を達成した。 練馬区における「放課後子どもプラン」は、今後も学童クラブ事業とひろば事業の連携が支障なく進むように、それぞれの学校にあったサポートをしていく。
I-6-15 ねりま遊遊スクール(子どもの居場所づくり)事業	講座数	小中学生および親子対象講座 435講座 障害のある子どものための連続講座 6講座 中学生対象連続講座 —	小中学生および親子対象講座 404講座 障害のある子どものための連続講座 7講座 中学生対象連続講座は、情報教育推進事業で実施した(1講座)。	小中学生および親子対象講座 390講座 障害のある子どものための連続講座 5講座 中学生対象連続講座 5講座	◆ I-6-15「ねりま遊遊スクール(子どもの居場所づくり)事業」 区内公共施設等で404回の講座が実施され、13,067人の参加があった。	ねりま遊遊スクール(子どもの居場所づくり)事業は、乳幼児を対象とした企画や障害のある子を対象とした企画も増えてきており、今後も区民のニーズに合わせた講座を実施する。 外遊び場の提供は、平成23年度よりNPO等民間活動団体との協働により、子どもたちが生きる力をはぐむための遊びの場として、幅広い年齢を対象に、実体験を積み重ねることのできる外遊びの場を開設する。
I-6-16 外遊びの場の提供	事業実施	外遊びの場提供事業案検討 活動団体調査	関係者会議を実施 事業者のプロポーザルを実施	外遊びの場提供事業の実施	◆ I-6-16「外遊びの場の提供」 練馬区での実施にあたり、あり方を検討した。 平成23年度からの事業開始に向けて受託事業者のプロポーザルを実施し、1事業者を選定した。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成22年度)

基本施策		7 子ども自らが考え、参画する機会の拡充				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成22年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成22年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-7-4 ねりま遊遊スクール(子どもによる講座づくり)事業	講座数	13講座	13講座	48講座	◆ I-7-4「ねりま遊遊スクール(子どもによる講座づくり)事業」 平成22年7月～平成23年3月の間に区立中学校等で延13回の講座が実施され、286人の参加があった。	今後も子どもたちが主体的に考え、参画できる場の提供を進める。
基本施策		8 経済的な支援				
【計画事業なし】						
基本施策		9 誰もが働きやすい就業環境の促進				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成22年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成22年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
I-9-9 男女共同参画計画に基づく施策の推進	施策の推進	次期練馬区男女共同参画計画の策定に向けての提言 女性の労働実態調査の実施	第3次練馬区男女共同参画計画(平成23年度～27年度)の策定	施策の推進	◆ I-9-9「男女共同参画計画に基づく施策の推進」 ねりまフォーラム講演会「さおだけ屋はなぜイクメンになったのか？」を開催した。 日時:平成22年10月30日(土) 会場:練馬公民館ホール 講師:山田真哉氏(公認会計士) 参加人数:105人	第3次練馬区男女共同参画計画に沿って、ワーク・ライフ・バランスを推進する。 平成23年度においても、平成23年10月30日(日)にねりまフォーラムを練馬公民館で実施予定。

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成22年度)

基本目標	Ⅱ 子どもと親の健康づくりを応援します					
基本施策	1 健康診査等の充実					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成22年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成22年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
Ⅱ-1-3 幼児歯科健康診査	1歳6か月児歯 科健康診査受診 率 2歳児歯科健康 診査受診率 2歳6か月児歯 科健康診査受診 率 3歳児歯科健康 診査受診率 3歳児のむし歯 のない子の割合	84.8% 80% 25.9% 89.5% 82%	86.8% 79.7% 31.6% 88.8% 83.7%	90% 80% 30% 90%以上 85%	◆Ⅱ-1-3「幼児歯科健康診査」 ・実施場所：保健相談所 ・1歳6か月児歯科健診 対象者数：5,897人 受診者数：5,121人 ・2歳児歯科健診 対象者数：5,885人 受診者数：4,690人 ・2歳6か月児歯科健診 対象者数：6,681人 受診者数：2,108人 ・3歳児歯科健診 対象者数：5,892人 受診者数：5,234人	1歳6か月児歯科健診、2歳児歯科健診、2歳6か月児歯科健診、3歳児歯科健診については、受診率の維持・向上のために未受診者に受診勧奨等を行っている。 その結果、2歳児、2歳6か月児、3歳児については、ほぼ計画どおりの実施となっている。1歳6か月児については、引き続き目標値の達成に向けて取り組んでいく。 さらに、生活習慣の改善とフッ化物配合歯磨剤の使用の普及啓発に努めることで、今後3歳児のむし歯のない子の割合を増加させていく。
基本施策	2 健康相談の充実と育児不安の解消					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成22年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成22年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
Ⅱ-2-4 妊産婦訪問指導、 産後相談	産婦訪問指導実 施率	86.9%	87.3%	90%以上	◆Ⅱ-2-4「妊産婦訪問指導、産後相談」 母子健康手帳に、こんにちは赤ちゃん事業の勧奨チラシを折り込んだ。また、提出していない方への勧奨通知を強化した。	目標達成に向けて、様々な工夫をして改善に努めるとともに、訪問指導の質の向上に取り組んでいく。 また、妊娠期からの支援の強化に取り組むため、妊娠届の改善について検討する。
Ⅱ-2-5 こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭 全戸訪問事業）	新生児等訪問実 施率	（低体重児） 49.0% （新生児） 86.5%	86.9%	90%以上	◆Ⅱ-2-5「こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）」 母子健康手帳にこんにちは赤ちゃん事業の勧奨チラシを折り込んだ。また、提出していない方への勧奨通知を強化した。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成22年度)

基本施策	3 予防接種の推進					
【計画事業なし】						
基本施策	4 小児(救急)医療・周産期医療の充実					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成22年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成22年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
II-4-6 病床確保事業	新病院の整備 既存病院の増 築・増床	練馬区病床確 保・医療機能拡 充検討委員会に おいて、新病院 の整備および既 存病院の増築・ 増床についての 具体的方策と区 内の小児医療・ 周産期医療等の 機能の拡充につ いての、具体策 をまとめる。 ※練馬区の一 般・療養病床数 1,912床	練馬区病床確保・ 医療機能拡充検討 委員会からの報告 を踏まえ、新病院 候補地選定のため の条件整理および 既存病院の増床に 向けた課題整理を 進めた。 ※練馬区的一般・ 療養病床数 1,910床	新病院の整備着手 (500床程度確 保) 既存病院増床 (200床程度確 保) 小児医療・周産期 医療の充実 ※練馬区の一 般・療養病床数 2,612床	◆II-4-6「病床確保事業」 周産期医療の充実を図るため、平成22 年4月より、日本大学医学部附属練馬光 が丘病院に、「周産期セミオープンシステ ム事業」を委託し実施した。 ※周産期セミオープンシステム 出産を取り扱う病院と地域の診療所・助 産所が連携し、妊娠32週頃までの妊婦検 診を診療所・助産所で受診し、以降は病院 で受診する。分娩時は病院に入院し、病 院の医師が分娩を扱う。	分娩できる医療機関の増加が難しい状 況の中、日本大学に事業委託をした周産 期セミオープンシステムについては、医 療機能に応じた役割分担が図られ、順調 に事業が進んでいる。 今後は、順天堂大学にも同様の事業委 託を受けていただき、区内の周産期医療 の充実に取り組んでいく。
基本施策	5 食を通じた子どもの健全育成					
【計画事業なし】						
基本施策	6 思春期における保健対策の充実					
【計画事業なし】						

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成22年度)

基本目標	Ⅲ 子どもの健やかな成長を助けるため教育環境を整備します					
基本施策	1 生きる力を育成する学校教育					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成22年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成22年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
Ⅲ-1-2 少人数指導方法の 充実	実施学校数	(少人数指導) 小学校56校 中学校20校	(少人数指導) 小学校57校 中学校21校	65校 34校	◆Ⅲ-1-2「少人数指導方法の充実」 申請があった学校すべてに学力向上支援講師を1人は配置できるようにした。なお、予算は限られているので、学力向上支援講師の授業時間数については、希望時間数の7～8割と調整を行った。	少人数指導方法の充実は、各校とも組織的な取り組みを展開することにより、児童・生徒の学習状況を把握した指導を実践する。児童・生徒の学習状況に応じたグループ編制や情報交換に基づいたきめ細かい指導により、分かる授業を展開する。
		(チームティーチング) 小学校7校 中学校12校	(チームティーチング) 小学校9校 中学校10校	7校 11校		
Ⅲ-1-10 教育相談	か所数	3か所	(仮称)大泉教育相談室の設置場所の決定	4か所	◆Ⅲ-1-10「教育相談」 (仮称)大泉教育相談室の設置場所を決定した。	
Ⅲ-1-15 小中一貫・連携教育の推進	小中一貫・連携教育の推進	小中一貫教育校実施計画(中間報告)の作成	小中一貫教育校実施計画の作成	小中一貫教育校開校 小中一貫・連携教育の推進 小中一貫教育校(2校目)の検討	◆Ⅲ-1-15「小中一貫・連携教育の推進」 「練馬区立小中一貫教育校設置に関する基本方針」(平成20年11月)に基づき、区初の小中一貫教育校に選定された大泉学園桜小学校と大泉学園桜中学校について、平成23年4月の開校に向けて、練馬区立小中一貫教育校推進委員会を設置(平成21年5月)し、「小中一貫教育校実施計画」を平成23年1月に作成した。	小中一貫・連携教育の推進は、区初の小中一貫教育校の開校に向け、平成21年度に練馬区立小中一貫教育校推進委員会を設置し、教育内容、学校経営、施設整備、就学、統一校名、統一校歌、統一校章などの検討を行い、平成23年1月、検討結果をまとめた「練馬区立小中一貫教育校実施計画」を作成した。 引き続き、すべての小中学校において小中一貫・連携教育の充実を図るための検討を行う。
Ⅲ-1-16 特別支援学級の設置	実施校数	知的障害学級 小学校 10校 中学校 8校 情緒障害等通級指導学級 小学校 7校 中学校 2校	知的障害学級 小学校 13校 中学校 8校 情緒障害等通級指導学級 小学校 7校 中学校 2校	16校 8校 8校 4校	◆Ⅲ-1-16「特別支援学級の設置」 知的障害学級開級3校 ※北町小学校・上石神井北小学校・南田中小学校	特別支援学級の設置は、地域の特別支援教育の拠点としての役割を担うため、地域バランスを考慮しながら設置し、特別支援学級設置校の大規模化を解消する。 (仮称)学校教育支援センターの開設に向けて、関係各課との協議を進める。
Ⅲ-1-17 (仮称)学校教育支援センターの整備	整備・運営	整備方針の策定	設計の開始	整備・運営	◆Ⅲ-1-17「(仮称)学校教育支援センターの整備」 平成25年度の開設に向けて、設計を開始した。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成22年度)

基本施策		1 生きる力を育成する学校教育				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成22年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成22年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
Ⅲ-1-18 校舎等の耐震化の 推進	耐震化率	81.80%	92.00%	100%	◆Ⅲ-1-18「校舎等の耐震化の促進」 補強工事 小学校11校 中学校10校	
Ⅲ-1-19 みどりと環境の学 校づくりの推進	緑化工事実施校	校庭芝生化 28校 屋上緑化 9校 みどりのカーテ ン等48校	校庭の芝生化 30校 屋上緑化 9校 みどりのカーテン 等50校	校庭の芝生化 63校 屋上緑化 14校 みどりのカーテン 等73校	◆Ⅲ-1-19「みどりと環境の学校づくりの 推進」 ・校庭芝生化 南田中小、光が丘第八小 ・みどりのカーテン 南田中小、光が丘第 八小	校舎等の耐震化率は、今後改築予定校を除き100%となる。 緑化工事についても、順次実施校を増やしていく。 区立学校・区立幼稚園の適正配置については、「第一次実施計画」(平成20年2月)において、平成22年度から26年度までを第二次実施計画期間としていたが、幼児教育のあり方の検討や学級編成基準の引き下げの進捗状況を見極める必要がでてきた。今後、国の法律改正の状況や東京都の動向を見定めるとともに、小中一貫・連携教育の充実の観点からも適正配置について検討を行う。
Ⅲ-1-20 区立学校・区立幼 稚園の適正配置	統合新校の開校	4統合準備会の運 営	統合新校4校の開 校	統合新校の開校 4校	◆Ⅲ-1-20「区立学校・区立幼稚園の適 正配置」 「第一次実施計画」(平成20年2月)に 基づき、平成22年4月、光が丘地区の小 学校8校を4校に統合・再編し、統合新校 4校を開校した。	
基本施策		2 家庭教育への支援の充実				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成22年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成22年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
Ⅲ-2-2 子育て学習講座	講座数	子育て学習講座 83講座 親育ち講座 1講座	子育て学習講座 69講座 親育ち講座(ねりま イクメン講座) 12講座	75講座 5講座	◆Ⅲ-2-2「子育て学習講座」 平成22年度より、親育ち講座を「ねりまイクメン講座」として、実施団体を募集した。父親や父子対象の講座を地域の団体が実施しやすいように改善した。	平成22年度より、父親や父親と子どもを対象とした「ねりまイクメン講座」を開設し、更に家庭教育への支援を強化している。今後も、効果的な事業とするため、見直しをしながら進めている。

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成22年度)

基本施策	3 地域の教育力の向上					
【計画事業なし】						
基本施策	4 幼児教育の充実					
【計画事業なし】						
基本目標	IV 子どもと子育て家庭を応援するまちづくりを進めます					
基本施策	1 居住環境の整備と子育てバリアフリーのまちづくり					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成22年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成22年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
IV-1-4 鉄道駅および駅周 辺のユニバーサル デザインの促進	駅数	18駅	20駅	21駅 さらなるバリアフ リー施設の充実	◆IV-1-2「駅のバリアフリー化」 平成22年度は江古田駅の改良工事が完了した。駅のバリアフリー化の状況としては、現在行っている氷川台駅の工事が完了すれば、21駅にバリアフリー化されたルートが確保できる。(23年夏頃完了予定)	
IV-1-5 歩道のバリアフ リー化	か所数	歩行者横断部改 良工事箇所184 か所 電線類地中化事 業 5か所	歩行者横断部改良 工事箇所 205か所 電線類地中化事業 6か所	284か所 12か所	◆IV-1-5「歩道のバリアフリー化」 交差点部歩道のバリアフリー改良工事により、21か所を整備した。 電線類地中化工事により1箇所、延長300mを整備した。	今後も各駅や駅周辺の状況に配慮しながら、さらなるバリアフリー化をめざしていく。 また、歩道のバリアフリー化および公園へのだれでもトイレの設置についても、新たに策定された「練馬区福祉のまちづくり総合計画」の推進も図りながら、子どもと子育て中の方などを含め、誰もが安心して快適に暮らせるまちづくりを進める。
IV-1-6 公園へのだれでも トイレの設置	か所数	25か所	28か所	35か所	◆IV-1-6「公園へのだれでもトイレの設置」 上石神井公園 大泉学園町希望が丘公園 ともだち公園	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成22年度)

基本施策		2 安全・安心のまちづくり				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成22年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成22年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
IV-2-2 自転車運転免許制 度	「自転車安全運 転カード」年間 発行数	4,734枚	4,828人 ※平成17~22年 度までの 延べ交付人数 23,408人	6,000枚	◆IV-2-2「自転車運転免許制度」 区立小学校53校、4,828人に、自転車の 安全な乗り方の講習を行い、「自転車安全 運転カード」を発行した。	
IV-2-6 地域パトロール体 制の充実	パトロールの実 施 パトロールカー の年間貸出数 パトロール用品 支給団体数 パトロール協定 団体数	24時間巡回パト ロール 小学校周辺パト ロール 夜間巡回パト ロール 463回 279団体 8団体	24時間巡回パト ロール 小学校周辺パト ロール 夜間巡回パトロー ル 457回 273団体 9団体	24時間巡回パト ロール 小学校周辺パト ロール 夜間巡回パトロー ル 600回 400団体 12団体	◆IV-2-6「地域パトロール体制の充実」 地域パトロールについては、「安全・安心 パトロールカー」7台体制で実施している。 365日24時間「安全・安心パトロールカー」 を運行している。特に昼間の時間帯は、全 小学校への立ち寄りを、4台で1日1回実 施している。 PTAや青少年育成地区委員会などが、 地域パトロールを行う際に、「安全・安心パ トロールカー」の貸出を行っている。 防犯防火に関わるパトロール活動を実 施するために登録した団体に対し、ジャン パー・誘導電灯などのパトロール用品の 支給を行っている。 郵便局や宅配便、新聞販売店などの業 務で区内をまわる各種団体とパトロール 協定を結び、区が作成したパトロールプ レートをつけて巡回してもらっている。	「自転車運転免許制度」は、平成19年 度から交通安全対策調査員を配置する 等行った結果、実施数は増加してきてい る。今後も引き続き、未実施校への周知 と理解を求め、より多くの児童への実施 を目標とする。 パトロールカーの貸出数やパトロール 団体の登録数については、引き続き周知 等を行い増加に努める。

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成22年度)

基本施策		2 安全・安心のまちづくり			平成22年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成22年度末 実施状況	平成26年度末 目標値		
IV-2-11 児童・生徒の地域 における緊急避難 所の設置	設置学校数	(ひまわり110番) 56校 (ひまわり110番とこども110番(カンガルー110番)の併用) 6校 こども110番(カンガルー110番) 6校 (独自の表示板) 1校	(ひまわり110番) 52校 (ひまわり110番とこども110番(カンガルー110番)の併用) 5校 こども110番(カンガルー110番) 7校 独自の表示板 1校	65校	◆IV-2-11「児童・生徒の地域における緊急避難所の設置」 全小学校65校の設置を継続している。 平成22年度末で緊急避難所として5,284件を登録している。	児童・生徒の地域における緊急避難所の設置を進めており、各PTAオリジナルの図柄の表示板が使用されてきたことから、区では「ひまわり110番」の表示板を統一図柄として実施団体に対し、無償配布している。また、平成18年4月から原則として、全ての区立施設等を緊急避難所に指定している。 子ども安全学習講座は、効果的な事業とするため見直しをしながら進めている。今後も、講演会や講座の定着を図るなど、更に家庭での安全教育への理解を進めていく。 連携組織については、新たに組織を構築するほか、防犯・防火などですでに連携が見られている地域では、既存組織の強化による組織構築を進めていく。
IV-2-15 子ども安全学習講座	講座数	8講座	5講座	15講座	◆IV-2-15「子ども安全学習講座」 応募団体数が年々減少傾向にあり、募集を行ったが、応募団体が少なかった。	
IV-2-16 地域防犯防火連携組織の確立	設置地区数	7地区	10地区	65地区	◆IV-2-16「地域防犯防火連携組織の確立」 おおむね小学校の学区を単位に地域住民団体や学校・区立施設などが連携して自主的に防犯・防火活動を行うことが出来る組織の設置について働きかけを行うとともに、当該組織が構築された場合、当該組織の運営費の一部について助成している。平成22年度には新たに3地区が加わり、計10地区において設置されている。	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成22年度)

基本施策		2 安全・安心のまちづくり				
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成22年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成22年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
IV-2-17 情報教育推進事業	講演会・講座開	情報教育講演会 5回	情報教育講演会 1回 情報教育家庭NIE 2講座 情報教育中学生の ための番組制作 1講座	情報教育講演会 2回 情報教育家庭NIE 1講座 情報教育中学生の ための番組制作 1講座	<p>◆IV-2-17「情報教育推進事業」 子どもにとって有害な情報の実際と対策 について学ぶ講演会を区内全小中学校で 実施する事業と連動させて実施し、104人 の参加があった。 平成22年度より、情報を発信する側に 立った中学生のためのニュース番組制作 講座を実施し、延132人の参加があった。 また、新聞を活用した講座を2回実施し、 延138人の参加があった。</p>	<p>情報機器や情報通信ネットワークが普 及していく中で、情報を収集し正しく判断 する能力や、自ら情報を発信していく能 力を育成していく事を目的に事業を実施 した。 今後も、参加者の要望を踏まえ効果的 な事業とするため、見直しをしながら進め ていく。</p>

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成22年度)

基本目標	V 特に援助が必要な子どもと子育て家庭を応援します					
基本施策	1 児童虐待防止対策の充実					
	【計画事業なし】					
基本施策	2 ひとり親家庭の自立の支援					
	【計画事業なし】					
基本施策	3 障害児の健全な発達の支援					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成22年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成22年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
V-3-5 特別支援教育に関 わる教員の専門性 の向上	研修会開催数	特別支援教育理 解のための研修 会 年間4回	特別支援教育研修 会 年間3回	特別支援教育理解 のための研修会 年間4回	◆V-3-5「特別支援教育に関わる教員の 専門性の向上」 都立石神井特別支援学校と共催の研修 を行い、連携を強化するとともに、巡回相 談員を含めて情報交換をするなど、特別 支援教育に携わる様々な方とのかかわり を通して、教員および学校生活支援員の 専門性の向上を図ることができた。	各事業とも計画通り進んでいる。 特別支援教育に関心のある教員、学校 生活支援員および各校において特別支 援教育の中核をなす教員など、立場や ニーズに応じた研修を開催した。心理検 査や連携図等の専門的な内容も取り入 れ、特別支援を要する児童生徒個々に 細やかに対応できる内容とした。 今後も、内容の充実を図りながら研修 会を開催する。
		特別支援教育 コーディネー ター養成研修会 年間6回	特別支援教育コー ディネーター研 修会 年間4回 学校生活支援員研 修会年間2回	特別支援教育コー ディネーター養成 研修会 年間6回 研修を充実させ、 特別支援学級およ び通常の学級にお ける特別支援教育 の一層の充実を図 る。		
V-3-11 心身障害者(児)に対 する住宅改造・改 善の助成	給付件数	障害児における 住宅設備改善費 50件	障害児における住 宅設備改善費 48件	50件/年	◆V-3-11「心身障害者(児)に対する住宅 改造・改善の助成」 ・小規模改修23件 ・中規模改修12件 ・昇降機5件 ・屋内移動設備8件	

練馬区次世代育成支援行動計画(後期計画)実施状況(平成22年度)

基本施策	3 障害児の健全な発達の支援					
計画事業名	目標指標	平成21年度末 実施状況	平成22年度末 実施状況	平成26年度末 目標値	平成22年度の取り組み、特記事項	基本施策のまとめ
V-3-12 心身障害者(児)に対する居宅系サービスの充実	利用時間・日数	障害児における居宅介護・重度訪問介護・行動援護・重度障害者等包括支援 利用時間 548,681時間	障害児における居宅介護・重度訪問介護・行動援護・重度障害者等包括支援 利用時間 564,550時間	障害児における居宅介護・重度訪問介護・行動援護・重度障害者等包括支援 利用時間 750,000時間	◆V-3-12「心身障害者(児)に対する居宅系サービスの充実」 居宅介護・重度訪問介護・行動援護・重度障害者等包括支援 9,508人 短期入所 1,550人 児童デイサービス 5,152人	各事業とも目標達成に向けて計画通り進んでいる。 児童デイサービスは目標を上回る利用があった。
V-3-13 日常生活を容易にするための各種援助	貸付・貸与件数	障害児における日常生活用具給付・貸付件数 8,836件	障害児における日常生活用具給付・貸付件数 11,038件	障害児における日常生活用具給付・貸付件数 13,000件	◆VI-3-13「日常生活を容易にするための各種援助」 (給付の多い種目) ・ストマ装具 9,437件 ※ストマ 腹部に増設された「人口肛門」や「人口膀胱」のこと。排泄された便や尿をためる袋をストマ装具として支給している。	
V-3-18 (仮称)こども発達支援センターの整備	開設	基本計画策定	実施設計(一部)	開設	◆V-3-18「(仮称)こども発達支援センターの整備」 平成24年度開設に向け、実施設計に着手した。	
基本目標	VI 計画の着実な推進を図ります					
基本施策	1 計画を推進する仕組みづくり					
【計画事業なし】						